

— 授業中にM7.6の大地震発生を想定した避難訓練。学生・教職員約1万人が参加 —

『関大防災 Day2010～広がれ！みんなの安全・安心！』を実施

日 時： 9月28日(火)11時35分～15時30分 場 所： 関西大学千里山キャンパス

関西大学では、9月28日(火)、総面積が約35万㎡という広大な千里山キャンパスで、学生・教職員約1万人が参加する大規模な地震避難訓練を行います。

訓練では、授業中にマグニチュード7.6の上町断層直下型地震が発生したと想定し、学生・教職員の避難から地震対策本部の設置、避難誘導、避難者の安否確認に至るまでを、本学オリジナルの「地震対応マニュアル」に基づいて実施します。

本学では、学内における防犯・災害等の対策の整備と体制の確立、危機管理マニュアルの整備、安全関係シンポジウム・講演会の開催、地元自治体・警察署・消防署との協力体制の確立など、「安全・安心」づくりに向けた諸活動を展開しています。大規模地震避難訓練の実施は2008年度に続き2度目で、今回は避難訓練以外に、防災にかかわるさまざまなイベントもあわせて行います。

記

1 日 時 9月28日(火)【報道受付 10:30】

(1) 大規模地震避難訓練・対策本部シミュレーション訓練 11:35～13:00

2時限目の授業中、11:40に地震音を放送。ただちに対策本部設置。授業担当者らは各避難場所まで学生を誘導し、安否確認シートを配布・回収。

(2) 防災イベント 11:40～15:30

- ・ 防災啓発ブース
- ・ エリアワンセグを使用した情報配信
- ・ 防災講演トークイベント
- ・ 普通救命講習会
- ・ 煙体験
- ・ 給水(バケツリレー)検証実験
- ・ 地震体験コーナー
- ・ 消火栓・消火器体験
- ・ 避難器具体験
- ・ 安否確認

2 場 所 関西大学千里山キャンパス全域(吹田市山手町3-3-35)

3 参加者 本学学生・教職員ら約1万人

以 上

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 北谷、木村、小野、常田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-0075 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■「関大防災Day2010」実施概要

- (1) 大規模地震避難訓練（11：40～12：10）

2時限目の授業中11：40に地震音を放送。その後、授業担当者等が各避難場所まで誘導。その後、安否確認シートを記入提出し、各自解散。
- (2) 対策本部シミュレーション訓練（11：40～13：00）

地震発生を想定し、情報収集、避難行動や救助活動等の実効性を高めるためのシミュレーション訓練を行う。なお、本年度については、エリアワンセグの放送実験を行うため、対策本部の設営場所を凧風館1階とする。
- (3) 防災啓発ブースの設置（11：50～15：30）

災害用品の紹介、保存食の試食、防災に関する取組みなどを学生に紹介するテントブースを設置する。学生へのアンケートは許可。
- (4) エリアワンセグを用いた情報配信（11：50～12：30）

エリアワンセグとは、「ワンセグ」技術を使って、テレビ局の放送とは別に、狭いエリアに限定して独自の映像やデータを配信するサービスのこと。今回は、朝日放送と協力して、対策本部で収集した交通機関の運行状況の情報や、被災後の行動指針等を本学独自の映像として作成し、学生の携帯電話に配信する実験を行う。
- (5) 防災講演トークイベント（13：00～14：30）

毎日放送ラジオ「ネットワーク 1.17」（阪神・淡路大震災以降、被災者の復興や課題を見つける内容のラジオ番組）の司会者 魚住由紀アナウンサーによる講演トークイベント
- (6) 普通救命講習会（13：00～16：00）

吹田西消防署による講習会で、参加者には吹田市消防長名で修了証が交付される。参加者数は最大30名で3時間の連続講習。
- (7) 煙体験（13：00～15：00）

テントハウス内に人体に無害な煙を発生させ、火災発生時における煙の怖さと避難方法を体験する。テントの横には、消防車・救急車・消防広報車が駐車予定。
- (8) 給水検証実験（11：50～12：30）

災害時供給水源から各炊き出し場所（関大会館前、悠久の庭、あすかの庭 計3ヶ所）への給水方法について、バケツ200個を使用して、有事の必要人員や時間の検証を行う。参加者は学生ボランティアを活用する。
- (9) 地震体験コーナー（11：50～15：30）

地震体験車を使用して、地震の揺れを体験する。
- (10) 消火栓・消火器体験（12：00～13：00）

屋外消火栓を使用して、実際の水圧等の体験をする。本物の消火器を使用し、オイルパンの火を消火する。
- (11) 避難器具体験（12：00～13：00）

避難袋での降下体験を行う。
- (12) 安否確認（11：50～終了まで）

安否確認シートを配布・回収する。

■大規模地震避難訓練・対策本部シミュレーション訓練 実施概要

- 1 日 時 9月28日(火) 11時35分～13時
- 2 場 所 関西大学千里山キャンパス全域(吹田市山手町3-3-35)
- 3 実施事項(スケジュール)

災害想定シナリオ

- ①震 度
 - 9月28日(火) 11時40分、上町断層直下型地震発生。マグニチュード7.6
 - 家屋倒壊等によって多数の死傷者が発生
- ②ライフラインの被害状況
 - ガス・水道供給ストップ。電気は供給継続
 - 阪急電鉄・JR・大阪市営地下鉄など公共交通機関全面ストップ
 - 近畿全域にわたって道路不通状態
- ③本学の被害状況
 - 強い揺れにより第1学舎2号館が損壊。
 - ITセンターも、強い揺れはあったものの倒壊は免れ、サーバーは使用可能
 - ガス・水道が供給ストップ(電気は使用可能)
- ④けが人等の人的被害
 - 行方不明者(学生・教職員)多数(後に死者5~6名、重傷者数十名、軽傷者多数であることが判明)

時 間	内 容	場 所	備 考
11:35	地震避難訓練実施の告知放送	キャンパス 全域	
11:40	地震発生(地震効果音放送:約1分間) 授業担当教員から学生への安全確保指示	キャンパス 全域	*取材可能場所 (当日案内)
11:41	避難誘導	キャンパス 全域	
	地震対策本部の設置	凜風館1階 学生ラウンジ	*取材可能場所 次頁案内図②
	各避難場所への避難 学生ボランティアの募集 「安否確認シート」により避難者の安否 確認後、各自解散	悠久の庭 ほか7箇所	*取材可能場所 次頁案内図③
13:00	危機管理最高責任者による記者会見 本訓練に関する総括および質疑応答	凜風館1階 学生ラウンジ	関西大学理事長 上原洋允 関西大学学長 楠見晴重

■関西大学の「安全・安心」づくりの取り組み

- 2007年7月12日 「安全宣言学園」構築プロジェクトが発足
- 2008年1月24日 「学校法人関西大学危機管理規程」を制定
- 2008年3月5日 「第1回地震対応シミュレーション訓練」を実施
- 2008年4月26日 「第1回社会安全シンポジウム」を開催
- 2008年6月4日 第1回危機管理委員会で「危機管理基本マニュアル」と個別マニュアルを作成
- 2008年7月5日 「社会安全学連続セミナー（第1回）」を開催
- 2008年9月17日 教職員を対象に「危機管理マニュアル説明会」を開催
- 2008年9月27日 「社会安全学連続セミナー（第2回）」を開催
- 2008年9月29日 第1回大規模地震避難訓練を開催
- 2010年4月1日 高槻ミューズキャンパスに社会安全学部を設置

■取材に関するご案内

- ◇報道受付は10時30分から新関西大学会館南棟ロビー（下図参照）で行います。その際、取材に関する詳細をご説明いたします。
- ◇車でお越しの場合は、駐車場（下図参照）に駐車してください。訓練の支障となりますので、キャンパス内への乗り入れはご遠慮ください。
- ◇各社の社章（腕章）をご用意ください。
- ◇避難訓練終了後、13時から上原洋允理事長および楠見晴重学長による会見を地震対策本部（凜風館1階）にて予定しています。
- ◇取材可能な場所は以下のとおりです。
 - ①教室（※当日ご案内します）
 - ②地震対策本部（凜風館1階学生ラウンジ）
 - ③避難場所（悠久の庭）

■関西大学千里山キャンパス 取材場所案内図

